

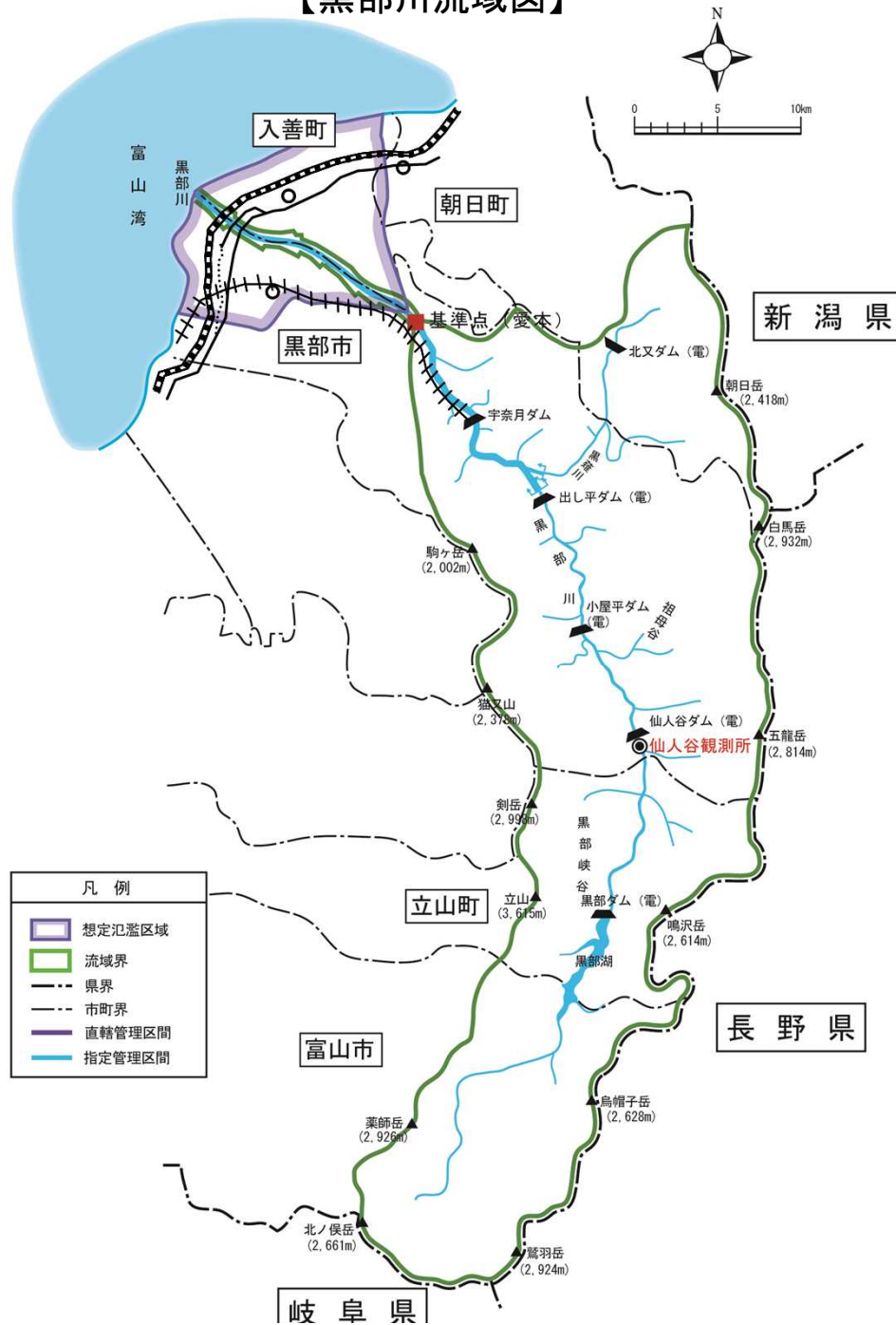
黒部川におけるリスク情報と 減災のための目標(案)

黒部川の主な特徴

- ① 急流河川であり、かつ年間降水量が多く水害リスクが高い。
(日本三大急流河川より急勾配、年間降水量は直轄河川109水系の内1番目)
- ② 雨が降ってから、洪水となって来襲するスピードが速い。
(近年出水の平成7年7月洪水では雨量ピークと流量ピークの差が2時間)
- ③ 本川は、旧河道跡が多数存在し、また、大きく蛇行しているため、外湾部は水衝部となっており、既往洪水で破堤の実績がある。
(越水以外のリスク、急激な水位上昇に注意)
- ④ 扇状地の海岸付近では海岸堤防より低い地盤である。
(浸水深が大きく、洪水が滞留する地形)

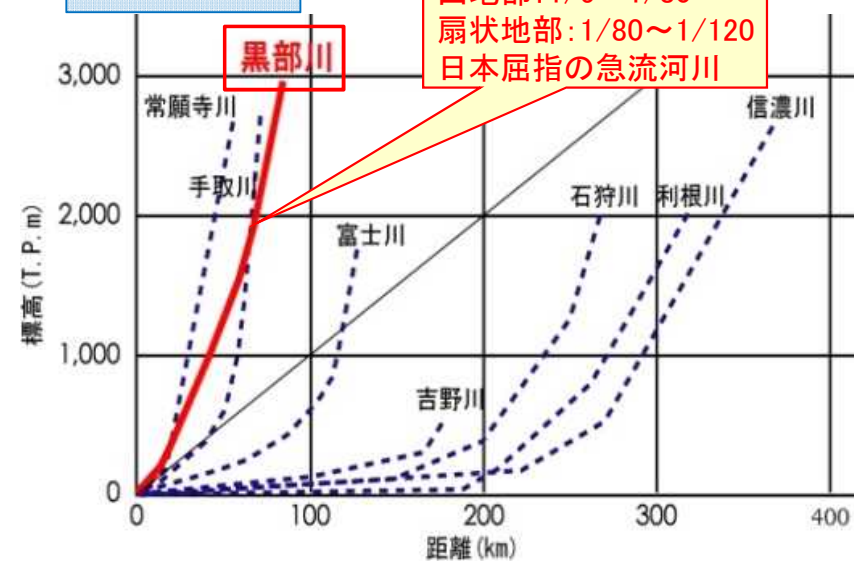
黒部川の主な特徴

【黒部川流域図】

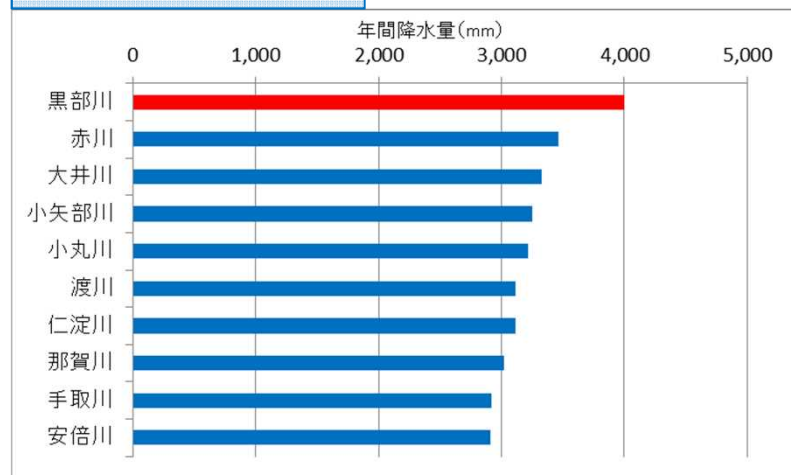


- 年間降水量が多く**4,000mm** (直轄河川1位)
- 山々に囲まれた**広大な空間が流域の99%**を占める
- 急流河川で洪水時のエネルギーが高く**侵食による被害が懸念される。**

河川勾配比較



年間降水量比較 (mm)

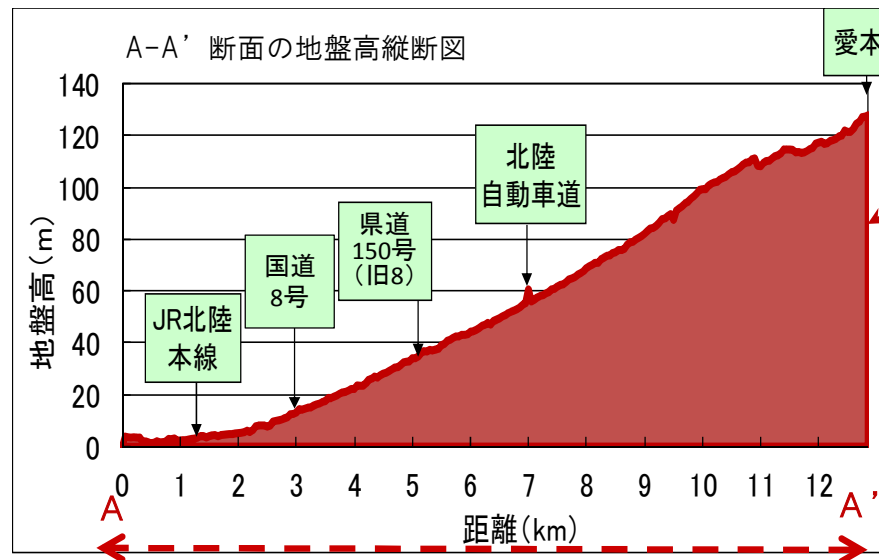
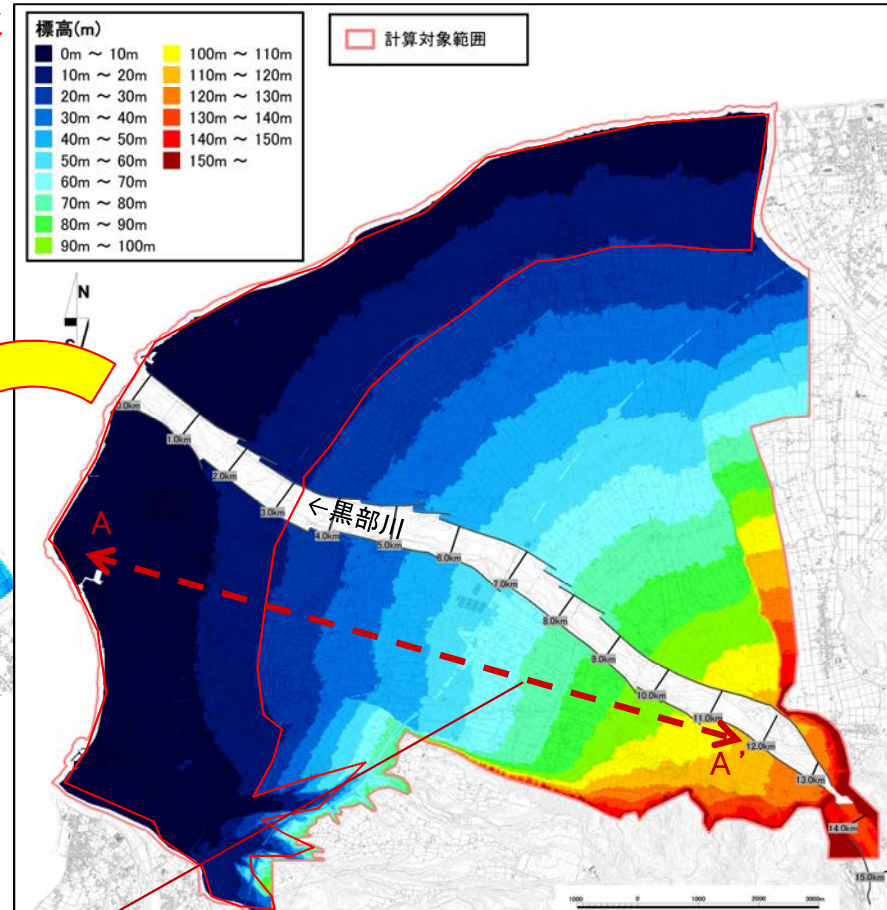
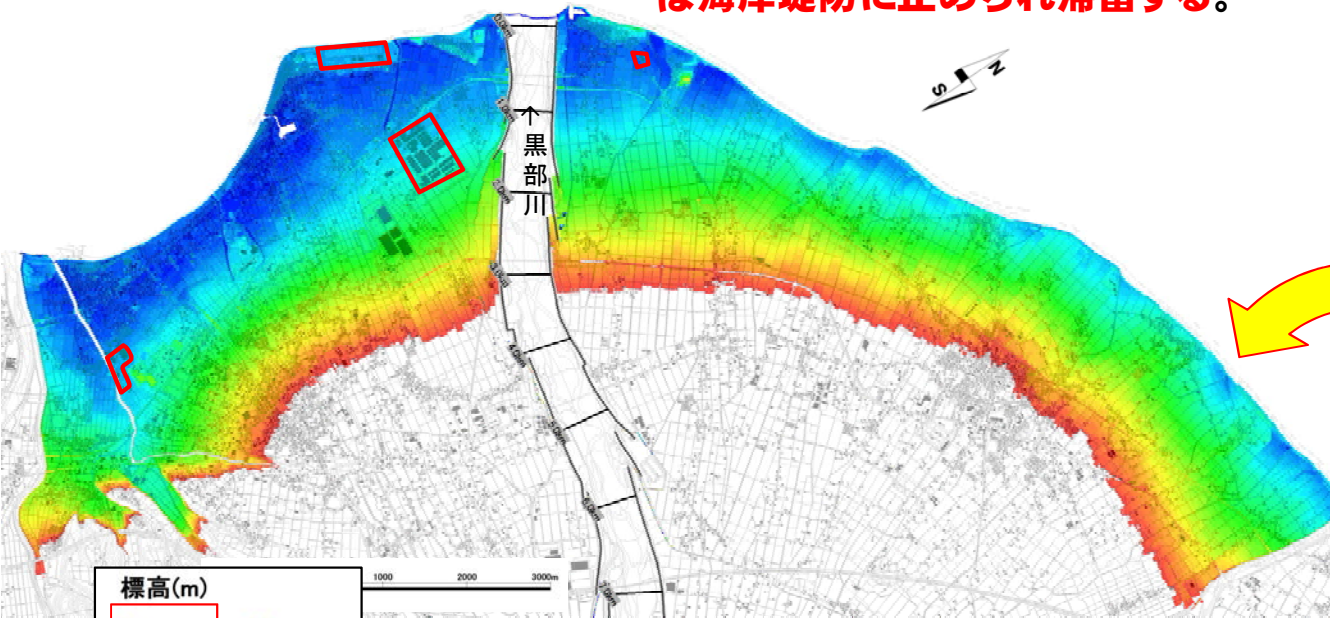


雨量年表(第48回平成12年)(国土交通省河川局編)を基にとりまとめ

黒部川の主な特徴

低平地にある工場等、
湛水により作業困難

○山間部から扇状地を急勾配な地形で
あるが、**海岸付近の地盤が低く氾濫水
は海岸堤防に止められ滞留する。**



この範囲の標高で氾濫水
が滞留しやすい

黒部川の主な特徴

○黒部川が氾濫・破堤に至った場合、その氾濫流が低平地に滞留し、地域住民はもとより、氾濫域で操業する企業の長期間の操業停止が予想される。



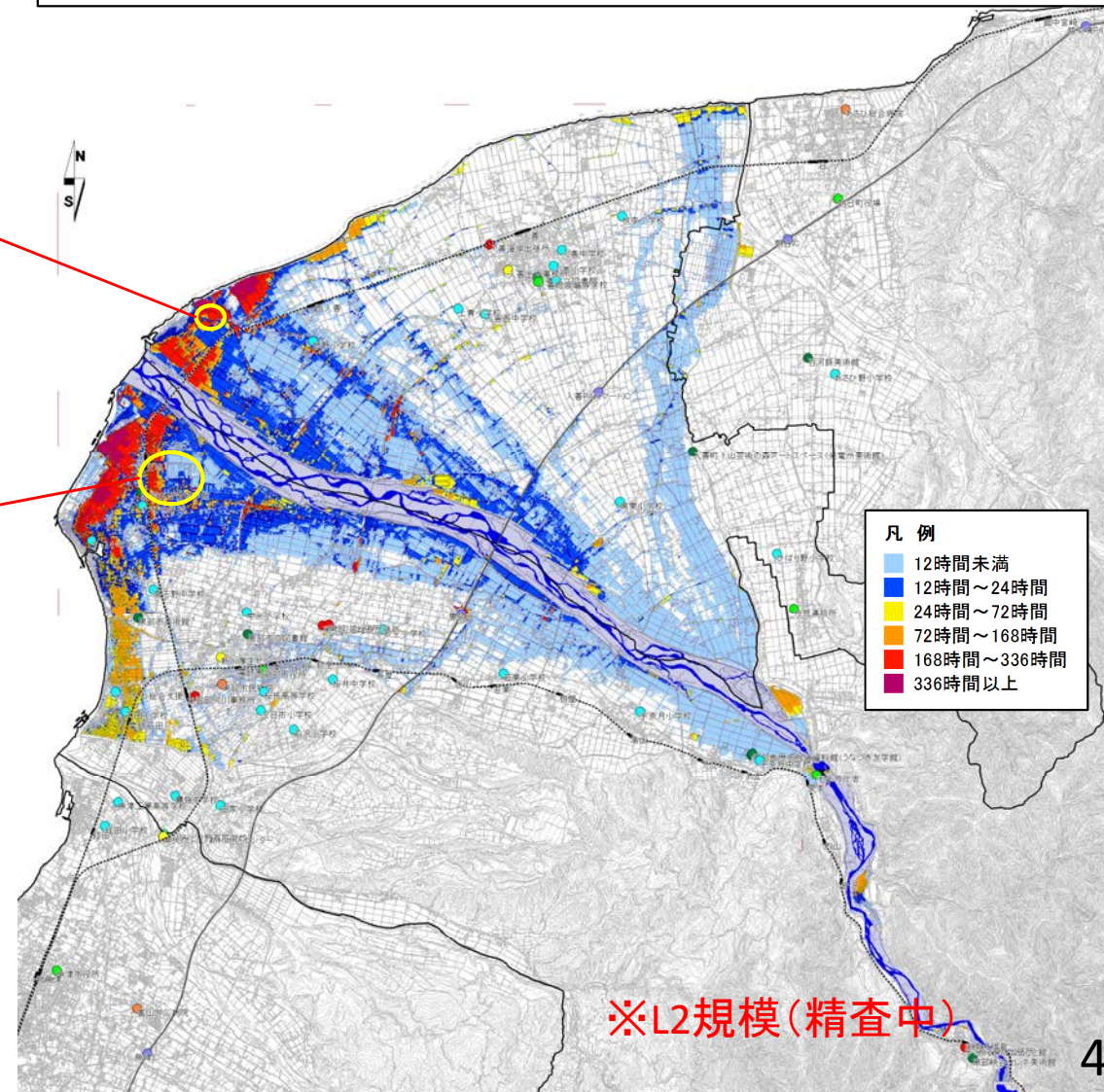
ウーケ(食品工場)【入善町】



YKK黒部事業所【黒部市】

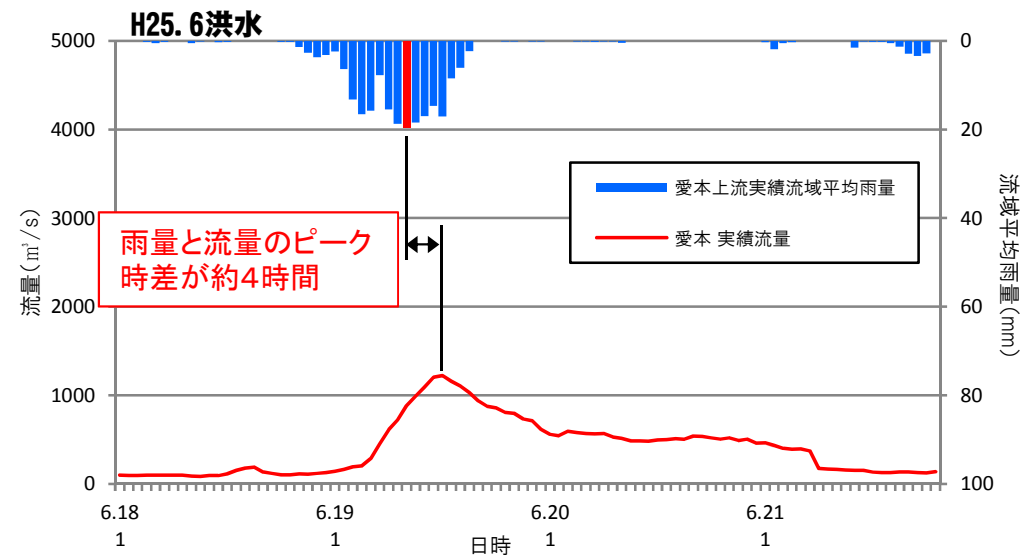
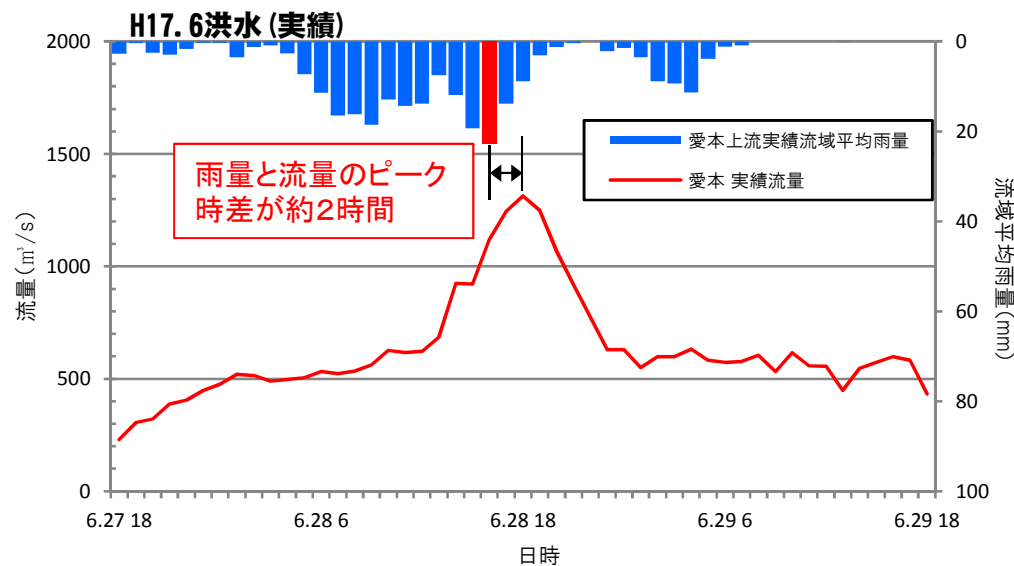
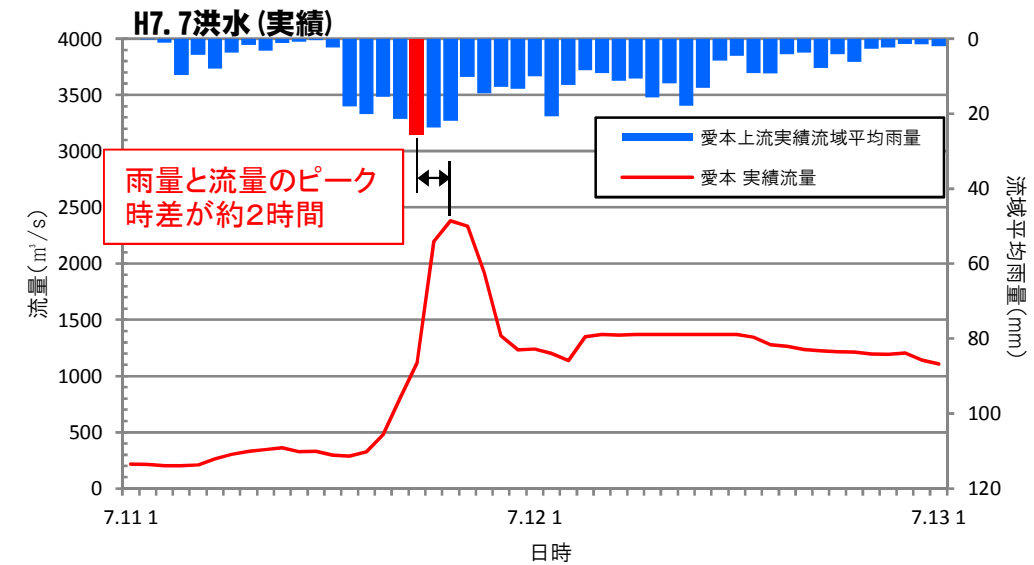
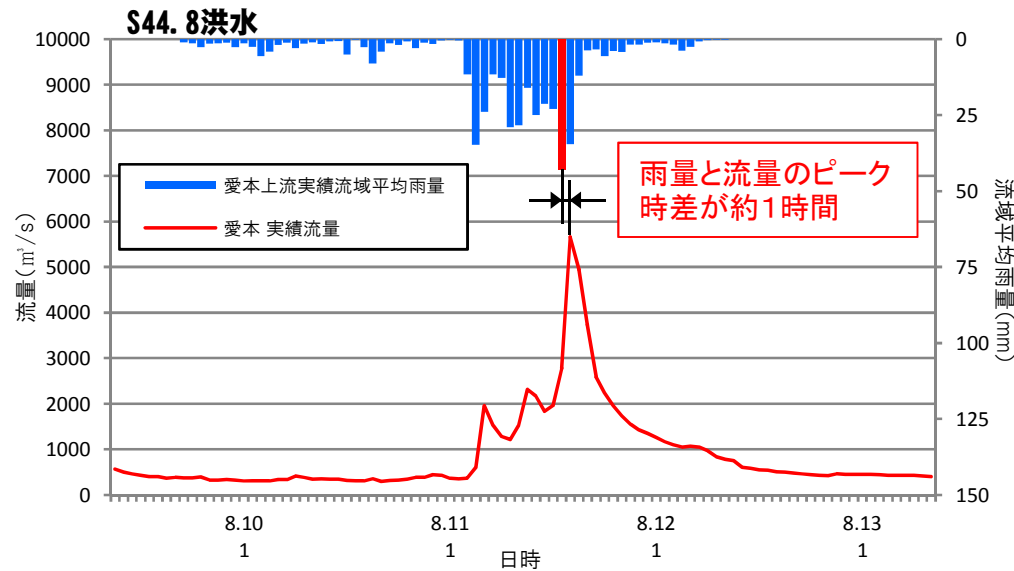
写真: 日本経済新聞 電子版より

想定最大規模降雨時浸水継続時間図(浸水深50cm 以上)



黒部川の主な特徴

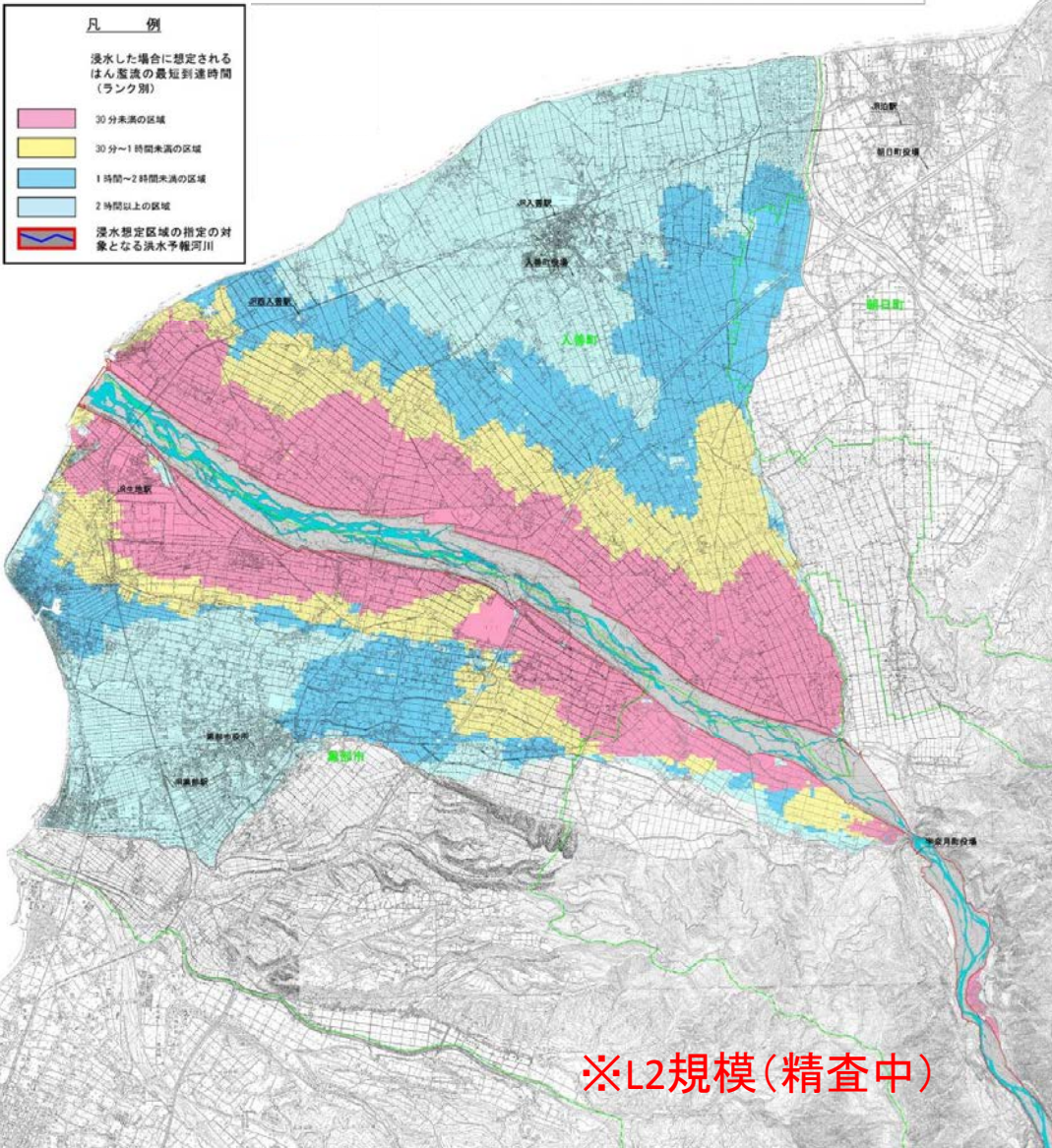
○黒部川の既往洪水では、降雨ピークと流量ピークの時差が早いもので概ね2時間以内のもあり、流量の増加スピードは著しく速い。



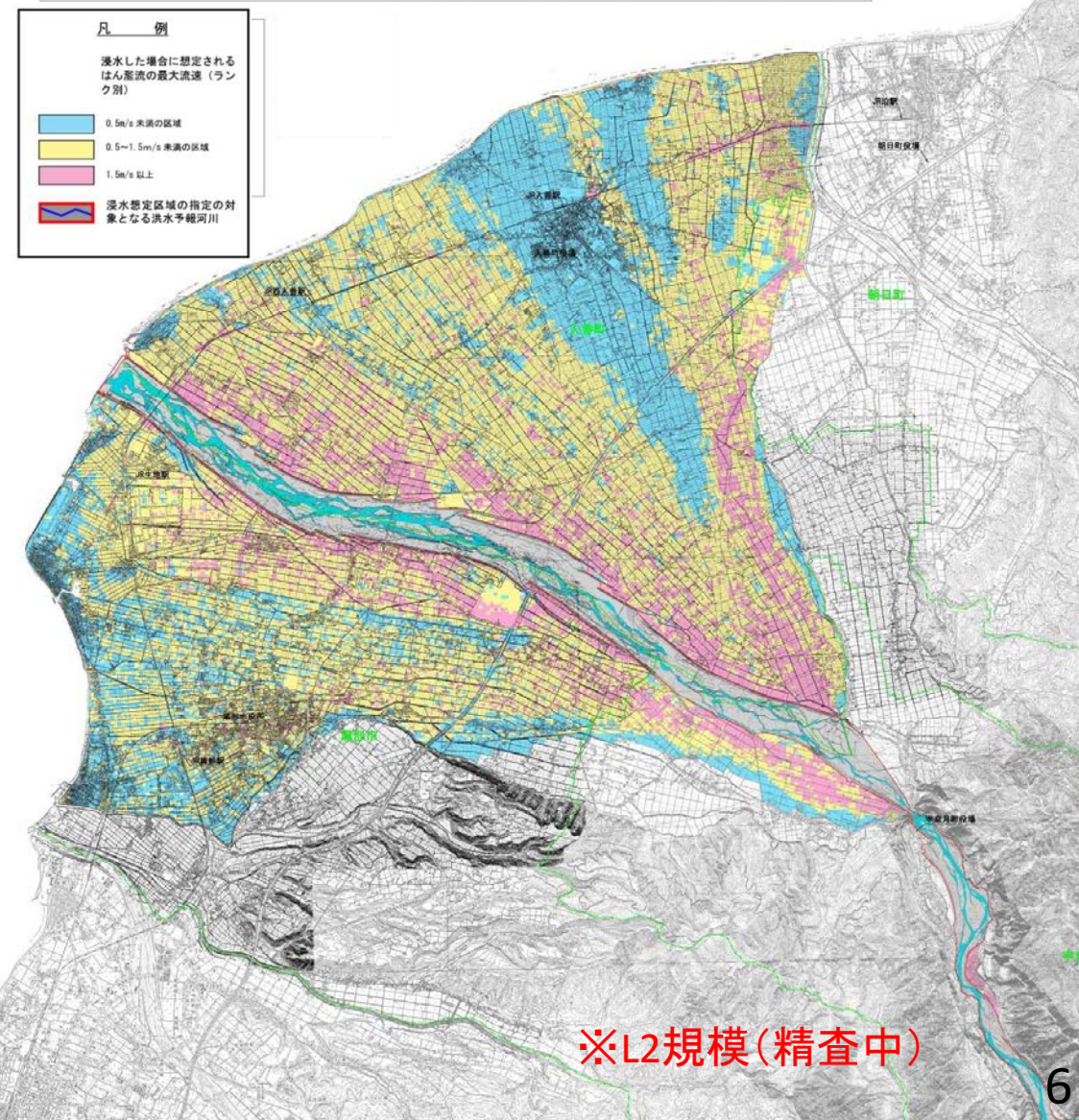
黒部川の主な特徴

○黒部川が氾濫・破堤に至った場合、その氾濫流は早く約2時間で市街地に到達することが予想される。また、その氾濫流の流速も速く、黒部川沿川や旧河道に沿って流速が上がっている傾向がある。

黒部川水系黒部川浸水想定区域参考情報図
はん濫流の最短到達時間想定図



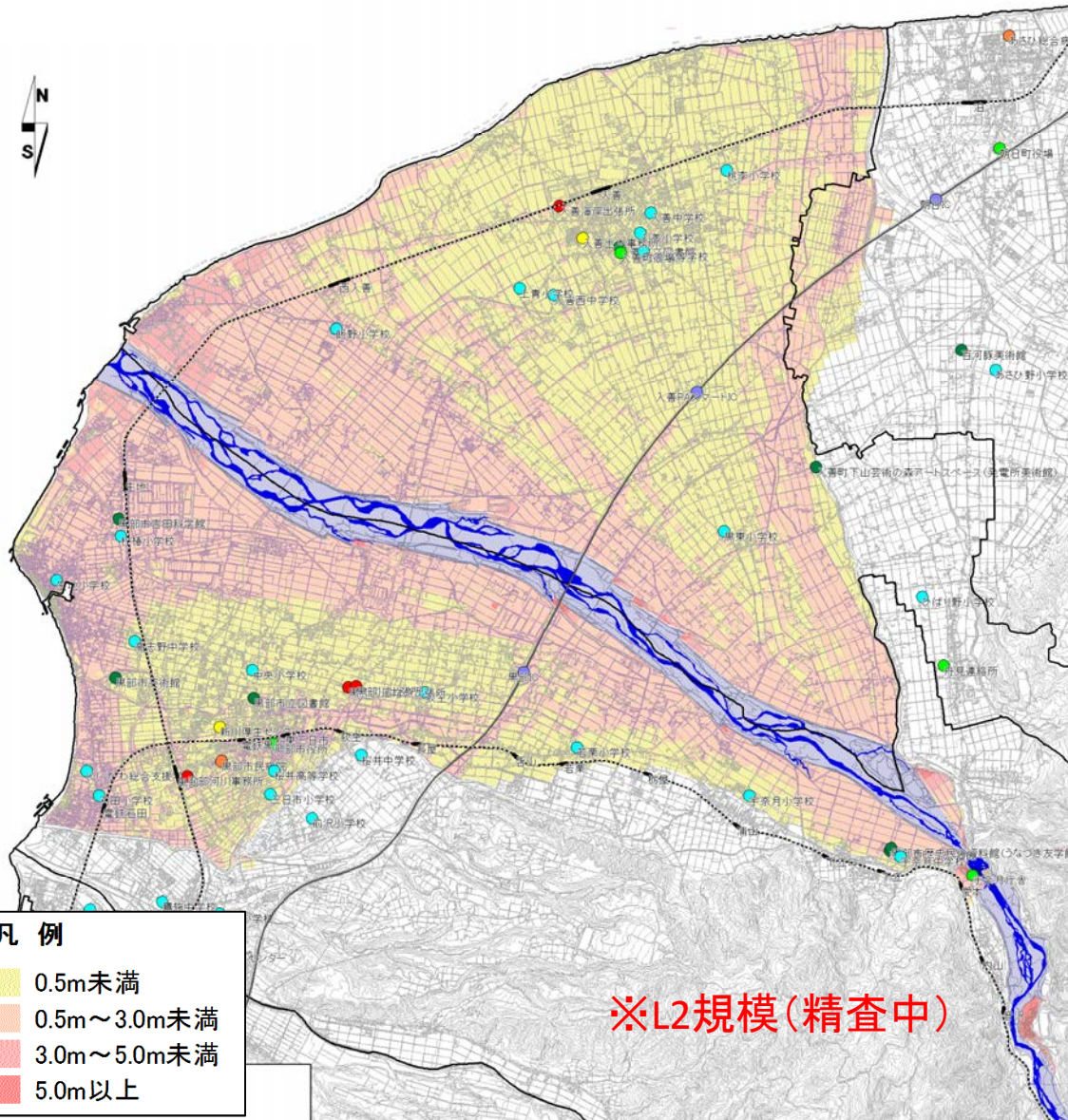
黒部川水系黒部川浸水想定区域参考情報図
はん濫流の最大流速想定図



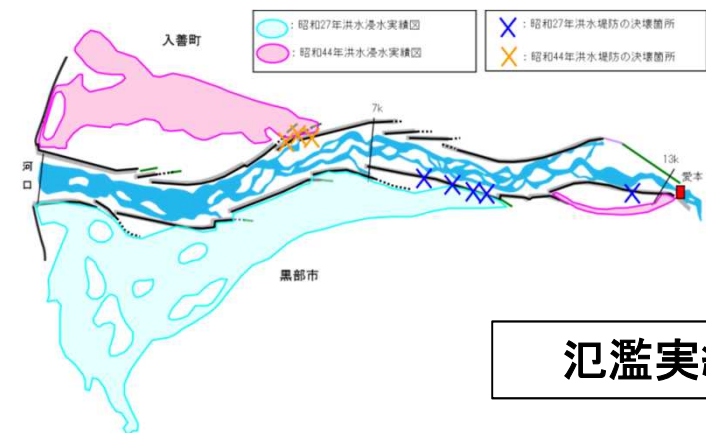
黒部川の主な特徴

○既往洪水での破堤箇所は旧河道に多く分布し、氾濫した場合には氾濫域は広大であり、浸水深は黒部川沿川や海岸付近が大きくなることが予想される。

浸水想定区域図(想定最大規模)



黒部川の旧河道(治水地形分類図)



氾濫実績

■5年間で達成すべき目標

急流河川でかつ土砂流出を伴う黒部川では、氾濫すれば破壊力の高い水流となる特性を踏まえ、大規模水害に対し、

『迅速で確実な避難』『社会経済被害の最小化』
を目標とする。

※大規模水害…想定し得る最大規模降雨に伴う洪水氾濫による被害

※迅速で確実な避難…浸水深が2階以上(3.0m以上)、家屋倒壊危険区域内では限られた時間での立ち退き避難(水平避難)が必要であり、それ以外の浸水区域においても立ち退き避難(水平避難)及び2階以上の屋内安全確保(垂直避難)が求められる。

※社会経済被害の最小化:大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

黒部川において、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を安全に流す対策に加え、以下の取り組みを実施

1. 黒部川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取り組み
2. 氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防活動の取り組み
3. 一刻も早く社会経済活動を回復させるための排水活動の取り組み